



小さな動物とふれあいました

○今日、トラとか、フラミンゴとかはいれないところ  
がはいれてうれしかったで  
す。



園長さんに案内していただきました

茶臼山動物園では、さまざま動物が飼育されています。その違いをじっくり観察することが出来ます。お天気にも恵まれたこの日、園長さんや飼育係の方に園内を案内していただき、普

だ見たことのない動物とかわらぬ動物を見ることが出来ました。ニホンカモシカとかもみれ  
て、うれしかったです。ぞうのふつうのひとは入ってはいけないところに入ってぞうのへやが、どういふふうになっているのかも知れて、うれしかったです。ぞうを、じっくり見たのは、はじめてだったのでよかったです。

信濃小中学校 4年 北村 友理襟  
信濃小中学校 3年 大沢 空良  
青柳 千桜  
松橋 怜音

動物園で 動物にさわろう  
— 動物園で学ぶ進化 —  
9月21日(土)

動物は、いろいろな形をしていて、さまざまな生活をしていきます。動物が、それぞれ長い歴史のなかで進化してきて、現在の形になりました。キリンの長い首や、ゾウの長い鼻もそうです。イヌやネコも足や爪の形が違っていますが、ネコとトラではよく形が似ています。これは同じ進化をたどってきたことを物語っています。

段は見られない、ゾウ舎の飼育している裏側を見せていただき、大変興味深いお話を聞くことができました。たくさん動物を観察し、たくさん発見がありました。とても充実した一日になりました。

○わたしは、動物の種類が楽しんでました。信濃小中学校 4年 松木 沙良  
○トラがネコ科だったのでびっくりしました。信濃小中学校 3年 小林 遼  
○動物のことがよく知れた。信濃小中学校 4年 青柳 千桜

最近でも各地で問題になっている地盤災害を、自然現象に伴う都市型災害とに分けて、まとめたお話をいただきました。8月に栄村中条川で起こった土石流は、



10月6日(日)の午後、総合会館でフォーラム「地震と地質」を開催し、町内や長野市などから35名の参加者がありました。このあたりの地質を専門に調べている地学団体研究会の塩野さんと竹下さんのお二人に講演をしていただきました。



塩野敏昭さん

塩野敏昭さん(地質コンサルタント)「地盤の災害—あなたの家は大丈夫か」

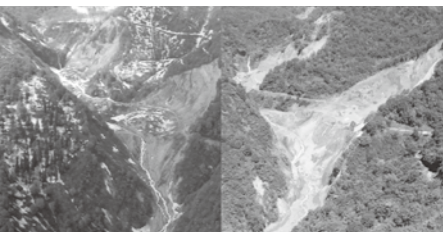
博物館のページ



野尻湖 マウマンゾウ博物館

フォーラム「地震と地質」

共催：地学団体研究会 長野の大地セミナー



柴村中条川の土石流  
地震直後にできた天然ダム(左)は今年の豪雨で決壊した(右)長野県林務部提供



秋田県仙北市の土石流  
市は気象台から2時間半前に警戒情報を受けたが、避難勧告がすぐに出せずに災害が発生

長野県北部地震の時に崖が崩れてできた天然ダムが台風による大雨の影響で決壊したものです。地震と豪雨が原因となっています。また、秋田県で8月に起きた土石流は、深層崩壊といって地下深くまで崩れた大規模なものです。

蒲原沢の土石流は、以前崩壊していた土砂が融雪と豪雨による大量の水が引き金になったものです。突然の豪雨などは予測できませんが、崩れやすい場所は何度も調査をして

も崩壊を繰り返しているで、そのようなところは以前の災害の教訓に学び、事前に災害が起こっても被害が少なくなる対策を考えておくことが重要だ、という指摘がありました。

竹下欣宏さん(信大教育学部)「長野県北部地震の被害調査をして」  
竹下さんは2011年3月の地震のすぐ後から現地に入り、主に道路や農地などの地盤の災害に着目して被害調査を実施し、その取りまとめをされました。被害は、道路のひび割れや崩落、橋と道路との取り付け部の崩落、農地のひび割れや砂が噴き出す噴砂現象などが各地でみられ、それら



終了後、多くの質問が出されました



小谷村蒲原沢 左の旧道の橋は過去の土石流を避けた場所に造られているが、右の新道の橋は教訓に学んでなく、土石流災害にあった

長野県北部地震の被害調査をして



竹下欣宏(信州大学教育学部)・大塚 勉・花岡邦明・宮下 忠・中村由克・近藤洋一・塩野敏昭・田辺智隆・富樫 均・小林和宏・寺尾真純・田澤岳哉

地震の直後から地学団体研究会の会員の調査が行われた

14月岡地区-小滝地区間の道路の破損



センターラインより川側(北側)の盛り土の部分はずり落ちて、路面が陥没し、開口割れ目が見えている

県北部地震の被害は、道路や橋、農地に多く現れました

講演後は、多くの方から地震と被害の様子や原因となった断層のこ  
ととか、地附山地すべり、針ノ木地震のことなどの質問がありました。

信濃小中学校5年2組の皆さんより

9月23日親子レクの感想文をいただきました。  
☆ナウマンゾウ博物館の見学・歯・骨の実物をさわったり、化石はつくつ体験をやらせてくださり、ありがとうございます。 神濃 鯉太郎  
☆ナウマンゾウの足あとを小学生が見つけたなんてびっくりしました。もっと野尻湖のことを知りたいです。  
和田 莉衣奈  
☆「ナウマンゾウ博物館は日本一ナウマンゾウの化石があり、ほかの博物館より多い」という話で、野尻のすごさを知らされました。 志原 綾夏  
☆化石を4つも見つけられました。うれしかったです。骨にもさわれてよかったです。 川口 壮太  
☆たのしかったのは化石ほりです。みどり色で光っているレア物を見つけれよかったです。 小林 慎弥  
☆とくにビックリしたのが、ぞうの鼻、皮、心ぞうです。とてもかわがかたかったです。 小林 恵達  
☆ゾウの鼻は大きくてびっくりしました。骨もおもたくて、ドキドキしました。 福澤 千依奈  
☆化石は見つけることがとても大変なことも分かったし、ゾウの心ぞうや鼻、皮も大きかったのでびっくりしました。  
鳥居 愛未  
☆人骨や人の足あとがあればもっと信濃町は豊かになると思いました。 清水 陽介  
☆全部楽しかったです!もっと化石をみつけて、もっと野尻湖をはってんさせたいです。 池田 一吐

ナウマンゾウと歩く、野尻湖ウォーク お知らせ

戸隠自然保護官事務所では、野尻湖ナウマンゾウ博物館、野尻湖と親しむプロジェクト(事務局:信濃町)と共催で、野尻湖畔に設置されているナウマンゾウのモニュメントを辿りながら、野尻湖畔を散策する「ナウマンゾウと歩く、野尻湖ウォーク!」を開催します。バーベキューもありますよ。  
日時:平成25年11月4日(月・祝) 9:00~13:30(予定)  
場所:長野県上水内郡信濃町野尻湖周辺  
(野尻湖ナウマンゾウ博物館にて8時30分より受付)  
主催:戸隠自然保護官事務所、野尻湖ナウマンゾウ博物館、野尻湖と親しむプロジェクト  
後援:信濃町商工会、野尻湖漁業協同組合、長野森林組合、一般社団法人信州しなの町エコツーリズム観光協会  
内容:ナウマンゾウのモニュメントを辿りながら、野尻湖畔を散策します。散策後の昼食ではバーベキューを予定しています。  
定員:25名  
参加費:大人500円 子ども300円(保険代、資料代、昼食代)  
持ち物:昼食(おにぎりなど、おかずは主催者で用意)、飲み物、タオル、雨具、防寒着、筆記用具、おやつなど  
服装:歩きやすい服装、運動靴、帽子 雨天時は野尻湖ナウマンゾウ博物館の見学などを行います。  
申込み方法:野尻湖ナウマンゾウ博物館へ電話でお申し込みください。(TEL:026-258-2090 受付時間9:00~17:00)  
問い合わせ先:環境省 戸隠自然保護官事務所(TEL:026-254-3060) 野尻湖ナウマンゾウ博物館 (TEL:026-258-2090)